

数 学

氏名		受験番号	
----	--	------	--

- 1 関数 $f(x) = 2^{3x} + 2^{-3x} - 3 \cdot 2^{3+x} - 3 \cdot 2^{3-x}$ ($0 \leq x \leq 2$) がある。 $t = 2^x + 2^{-x}$ ($0 \leq x \leq 2$) とする。
- (1) $f(x)$ を t を用いて表せ。
 - (2) t の最小値を求めよ。
 - (3) $f(x)$ の最小値およびそのときの x の値を求めよ。

[解答欄]

(1)

$$\begin{aligned} f(x) &= (2^x)^3 + (2^{-x})^3 - 3 \cdot 2^3(2^x + 2^{-x}) \\ &= (2^x + 2^{-x})\{(2^x)^2 - 2^x \cdot 2^{-x} + (2^{-x})^2 - 24\} \\ &= (2^x + 2^{-x})\{(2^x + 2^{-x})^2 - 27\} \\ &= t(t^2 - 27) = t^3 - 27t \end{aligned}$$

答え : $f(x) = t^3 - 27t$

- (2) 相加平均と相乗平均の関係より、 $t \geq 2\sqrt{2^x \cdot 2^{-x}} = 2$ が成り立つ。ここで、等号成立は $2^x = 2^{-x}$ のとき、すなわち $x = 0$ のときで、0 は指定された x の範囲内にある。

答え : 最小値 2 ($x = 0$ のとき)

- (3) $g(t) = t^3 - 27t$ とおく。 $g'(t) = 3t^2 - 27 = 3(t+3)(t-3)$ より、 $g(t)$ の増減表は以下のようになる：

t	...	-3	...	3	...
$g'(t)$	+	0	-	0	+
$g(t)$	↗	54	↘	-54	↗

この増減表を $t \geq 2$ の範囲で見ることにより

$f(x)$ の最小値は $-54 \iff 0 \leq x \leq 2$ かつ $2^x + 2^{-x} = 3$ を満たす x が存在する

$s = 2^x$ とおくと

$$2^x + 2^{-x} = 3 \iff s^2 - 3s + 1 = 0 \iff s = \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

ここで

$$\frac{3 - \sqrt{5}}{2} < 1 < \frac{3 + \sqrt{5}}{2} < 2^2$$

より、 $2^x = \frac{3 + \sqrt{5}}{2}$ となる x が $0 \leq x \leq 2$ を満たす。よって、 $f(x)$ は $x = \log_2 \frac{3 + \sqrt{5}}{2}$ のとき最小値 -54 をとる。

答え : 最小値 -54 , $x = \log_2 \frac{3 + \sqrt{5}}{2}$ のとき

得点	
----	--

数学

社情 2

氏名		受験番号	
----	--	------	--

- 2 座標平面上に 2 点 $P(3, 0)$, $Q(0, 4)$ がある。 x 軸, y 軸, および線分 PQ のいずれにも接する円で, 中心が第 1 象限にあるものを C とする。

- (1) 円 C の半径を求めるよ。
 (2) 円 C と線分 PQ の接点の座標を求めるよ。

[解答欄]

- (1) C の半径を r とすると, C は次のように表せる :

$$C : (x - r)^2 + (y - r)^2 = r^2 \quad \dots \quad (\text{ア})$$

また, 直線 PQ は次のように表せる :

$$\frac{x}{3} + \frac{y}{4} = 1 \quad \text{すなわち} \quad y = -\frac{4}{3}x + 4 \quad \dots \quad (\text{イ})$$

(ア) に (イ) を代入すると

$$(x - r)^2 + \left\{ -\frac{4}{3}x + (4 - r) \right\}^2 = r^2 \quad \text{すなわち} \quad 25x^2 + 6(r - 16)x + 9(4 - r)^2 = 0 \quad \dots \quad (\text{ウ})$$

この 2 次方程式の判別式が 0 となる r で正のものが求める半径である。ここで

$$\begin{aligned} \text{判別式} = 0 &\iff \{6(r - 16)\}^2 - 4 \times 25 \times 9(4 - r)^2 = 0 \\ &\iff r - 16 = \pm 5(4 - r) \\ &\iff r = 1, 6 \end{aligned}$$

よって, 円 C の半径は 1 または 6 である。

答え : 1 または 6

- (2) C の半径が 1 のとき, 求める接点の x 座標は, (ウ) より

$$x = \frac{6(16 - 1)}{2 \times 25} = \frac{9}{5}$$

このとき, 求める接点の y 座標は, (イ) より

$$y = -\frac{4}{3} \times \frac{9}{5} + 4 = \frac{8}{5}$$

同様に, C の半径が 6 のとき

$$x = \frac{6(16 - 6)}{2 \times 25} = \frac{6}{5}, \quad y = -\frac{4}{3} \times \frac{6}{5} + 4 = \frac{12}{5}$$

答え : C の半径が 1 のとき $\left(\frac{9}{5}, \frac{8}{5}\right)$, C の半径が 6 のとき $\left(\frac{6}{5}, \frac{12}{5}\right)$

数 学

氏名		受験番号	
----	--	------	--

- 3 $\theta_n = \frac{\pi}{4n(n+1)}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) とする。数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ は、初項がそれぞれ $a_1 = \cos \theta_1$, $b_1 = \sin \theta_1$ で与えられ、漸化式 $a_{n+1} = a_n \cos \theta_{n+1} - b_n \sin \theta_{n+1}$, $b_{n+1} = a_n \sin \theta_{n+1} + b_n \cos \theta_{n+1}$ を満たす。
(1) a_2, b_2 の値を求めよ。
(2) 数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ の一般項を求めよ。

[解答欄]

(1)

$$\begin{aligned} a_2 &= \cos \theta_1 \cos \theta_2 - \sin \theta_1 \sin \theta_2 = \cos(\theta_1 + \theta_2) \quad (\text{加法定理}) \\ &= \cos\left(\frac{\pi}{4}\left(\frac{1}{2} + \frac{1}{6}\right)\right) = \cos\frac{\pi}{6} = \frac{\sqrt{3}}{2} \\ b_2 &= \cos \theta_1 \sin \theta_2 + \sin \theta_1 \cos \theta_2 = \sin(\theta_1 + \theta_2) \quad (\text{加法定理}) \\ &= \sin\left(\frac{\pi}{4}\left(\frac{1}{2} + \frac{1}{6}\right)\right) = \sin\frac{\pi}{6} = \frac{1}{2} \end{aligned}$$

答え : $a_2 = \frac{\sqrt{3}}{2}$, $b_2 = \frac{1}{2}$

(2) すべての自然数 n について

$$a_n = \cos(\theta_1 + \dots + \theta_n), \quad b_n = \sin(\theta_1 + \dots + \theta_n) \quad \dots \quad (*)$$

が成り立つことを数学的帰納法で証明する。

- ・ $n = 1$ のとき (*) は正しい。
- ・ n のとき (*) は正しいと仮定する。このとき、漸化式より

$$\begin{aligned} a_{n+1} &= \cos(\theta_1 + \dots + \theta_n) \cos \theta_{n+1} - \sin(\theta_1 + \dots + \theta_n) \sin \theta_{n+1} \\ &= \cos(\theta_1 + \dots + \theta_{n+1}) \quad (\text{加法定理}) \\ b_{n+1} &= \cos(\theta_1 + \dots + \theta_n) \sin \theta_{n+1} + \sin(\theta_1 + \dots + \theta_n) \cos \theta_{n+1} \\ &= \sin(\theta_1 + \dots + \theta_{n+1}) \quad (\text{加法定理}) \end{aligned}$$

となり、(*) は $n+1$ のときも正しい。よって、数学的帰納法により (*) はすべての自然数 n について正しい。

ここで

$$\begin{aligned} \theta_1 + \dots + \theta_n &= \frac{\pi}{4} \sum_{k=1}^n \frac{1}{k(k+1)} = \frac{\pi}{4} \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+1} \right) \\ &= \frac{\pi}{4} \left(1 - \frac{1}{n+1} \right) = \frac{n\pi}{4(n+1)} \end{aligned}$$

より、 $a_n = \cos \frac{n\pi}{4(n+1)}$, $b_n = \sin \frac{n\pi}{4(n+1)}$ となる。

答え : $a_n = \cos \frac{n\pi}{4(n+1)}$, $b_n = \sin \frac{n\pi}{4(n+1)}$

得点	
----	--



数 学

氏名		受験番号	
----	--	------	--

- 4 四面体 OABC において、 $OA = OB = OC = 2$ かつ $BC = 3$ であるとする。 $\triangle OBC$ の重心を G とするとき、直線 AG は $\triangle OBC$ を含む平面に垂直であるとする。
- (1) 内積 $\overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OC}$ を求めよ。
 - (2) 内積 $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OC}$ を求めよ。
 - (3) 点 B から $\triangle OAC$ を含む平面に下ろした垂線は、直線 AG と交わらないことを示せ。

[解答欄]

$$\overrightarrow{OA} = \vec{a}, \overrightarrow{OB} = \vec{b}, \overrightarrow{OC} = \vec{c} \text{ とする。}$$

(1)

$$\begin{aligned} 3^2 &= \overrightarrow{BC} \cdot \overrightarrow{BC} = (\vec{c} - \vec{b}) \cdot (\vec{c} - \vec{b}) \\ &= |\vec{c}|^2 - 2\vec{b} \cdot \vec{c} + |\vec{b}|^2 = 2^2 - 2\vec{b} \cdot \vec{c} + 2^2 \end{aligned}$$

より

$$\vec{b} \cdot \vec{c} = \frac{1}{2}(2^2 + 2^2 - 3^2) = -\frac{1}{2}$$

答え : $-\frac{1}{2}$

- (2) 仮定より \overrightarrow{AG} と \vec{c} は垂直で、 $\overrightarrow{AG} = \overrightarrow{OG} - \overrightarrow{OA} = \frac{1}{3}\vec{b} + \frac{1}{3}\vec{c} - \vec{a}$ なので

$$0 = \left(\frac{1}{3}\vec{b} + \frac{1}{3}\vec{c} - \vec{a} \right) \cdot \vec{c} = \frac{1}{3}\vec{b} \cdot \vec{c} + \frac{1}{3}|\vec{c}|^2 - \vec{a} \cdot \vec{c}$$

よって、(1) の結果より

$$\vec{a} \cdot \vec{c} = \frac{1}{3} \times \left(-\frac{1}{2} \right) + \frac{1}{3} \times 2^2 = \frac{7}{6}$$

答え : $\frac{7}{6}$

- (3) 直線 AG 上の任意の点を P とする。このとき、 \overrightarrow{BP} が $\triangle OAC$ を含む平面に垂直ではないことを示せばよい。そのために、 \overrightarrow{BP} が \vec{c} に垂直ではないことを示す。

$$\overrightarrow{AP} = s\overrightarrow{AG} \quad (s \text{ は実数})$$

と表わせるので

$$\overrightarrow{BP} = \overrightarrow{BA} + \overrightarrow{AP} = (\vec{a} - \vec{b}) + s\overrightarrow{AG}$$

よって

$$\overrightarrow{BP} \cdot \vec{c} = (\vec{a} - \vec{b}) \cdot \vec{c} + s\overrightarrow{AG} \cdot \vec{c}$$

となるが、仮定より $\overrightarrow{AG} \cdot \vec{c} = 0$ が成り立つこと、(1), (2) の結果を用いると

$$\overrightarrow{BP} \cdot \vec{c} = \vec{a} \cdot \vec{c} - \vec{b} \cdot \vec{c} = \frac{7}{6} + \frac{1}{2} = \frac{5}{3} \neq 0$$

これは、 \overrightarrow{BP} が \vec{c} に垂直ではないことを意味する。よって、題意が示された。

得点	
----	--



数 学

氏名		受験番号	
----	--	------	--

- 5 a, b, c は定数で、 $a > 0$ とする。関数 $f(x) = ax^2 + bx + c$ は、 $\int_{-1}^1 f(x) dx = 0$, $\int_{-1}^1 xf(x) dx = 0$, $\int_{-1}^1 f(x)^2 dx = \frac{2}{5}$ を満たすとする。

- (1) a, b, c の値を求めよ。
(2) 曲線 $y = f(x)$ と直線 $y = x$ で囲まれた図形の面積を求めよ。

[解答欄]

(1) $\int_{-1}^1 x dx = \int_{-1}^1 x^3 dx = 0$ に注意する。

$$0 = \int_{-1}^1 f(x) dx = \left[\frac{1}{3}x^3 + cx \right]_{-1}^1 = \frac{2}{3}a + 2c \quad \dots \quad (\text{ア})$$

$$0 = \int_{-1}^1 xf(x) dx = \left[\frac{1}{3}bx^3 \right]_{-1}^1 = \frac{2}{3}b \quad \dots \quad (\text{イ})$$

$$\frac{2}{5} = \int_{-1}^1 f(x)^2 dx = \int_{-1}^1 (ax^2 + c)^2 dx \quad ((\text{イ}) \text{ より}, b = 0)$$

$$= \int_{-1}^1 (a^2x^4 + 2acx^2 + c^2) dx = \left[\frac{1}{5}a^2x^5 + \frac{2}{3}acx^3 + c^2x \right]_{-1}^1$$

$$= \frac{2}{5}a^2 + \frac{4}{3}ac + 2c^2 \quad \dots \quad (\text{ウ})$$

(ア) より、 $c = -\frac{1}{3}a$. これを(ウ)に代入して

$$\left(\frac{2}{5} + \frac{4}{3} \times \left(-\frac{1}{3} \right) + 2 \times \left(-\frac{1}{3} \right)^2 \right) a^2 = \frac{2}{5} \quad \text{すなわち} \quad a^2 = \frac{9}{4}$$

よって、 $a > 0$ に注意して、 $a = \frac{3}{2}$. したがって、 $c = -\frac{1}{3}$.

答え : $a = \frac{3}{2}, b = 0, c = -\frac{1}{3}$

(2)

$$f(x) = x \iff \frac{3}{2}x^2 - \frac{1}{2} = x \iff x = -\frac{1}{3}, 1$$

よって、曲線 $y = f(x)$ と直線 $y = x$ の交点の x 座標は $-\frac{1}{3}, 1$. また、 $-\frac{1}{3} \leq x \leq 1$ において

$$x - f(x) = \frac{3}{2} \left(x + \frac{1}{3} \right) (1 - x) \geq 0$$

なので

$$\begin{aligned} \text{求める面積} &= \frac{3}{2} \int_{-\frac{1}{3}}^1 \left(x + \frac{1}{3} \right) (1 - x) dx = \frac{1}{2} \int_{-\frac{1}{3}}^1 (-3x^2 + 2x + 1) dx \\ &= \frac{1}{2} \left[-x^3 + x^2 + x \right]_{-\frac{1}{3}}^1 = \frac{16}{27} \end{aligned}$$

答え : $\frac{16}{27}$

得点	
----	--